



白門板橋

2008. 10. 15 VOL.30 (支部創立20周年記念号)

編集 中央大学学員会 東京板橋区支部
発行 〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL03-3550-3300



■総会のごあいさつ

支部の更なる充実・発展を!

支部長 小日向孝介

* * *

平成二〇年の板橋区支部総会並びに支部創立二〇周年記念式典を開催しましたところ、大学、学員会、都区内支部役員の皆様、支部会員多数のご出席をいただき、有難く厚くお礼申し上げます。

さて、総会につきましては、過去一年間に於ける業務を予定通り消化し、その総括に関して、皆様のご承認をいただくことになっております。活発なご討議と十分なご審議をお願い申し上げます。

また、二〇周年記念事業につきましては、本年早くから実行委員の周到な計画の下に準備を進めてまいりましたが、広範に及ぶ各会員の心温まる賛助金をはじめとする数々のご援助によりまして、極めて内容の充実した式典を開催できることになりました。

ところで、本総会をもちまして、役員全員が任期満了改選となります。私は支部長として、皆様のご協力をいただきながら、他の役員と一体となって、長期間に亘り、支部の活性化・安定化に努めてまいりました。就任当初に目標としました諸計画もほぼ達成し、板橋区支部としての方向性を確立することができました。この機会に退任し、人格・識見ともに優れた次期支部長に今後を託して、板橋区支部の更なる発展・充実を期待したいと考えます。

会員の皆様には、私はじめ今回退任する各役員に対しまして、温情溢れるご支援・ご協力を賜り、本当に有難うございました。代表して、心からお礼申し上げます。

本日ご列席の皆様のみならずのご健勝とご発展を祈念して、挨拶といたします。
(総会当日の支部長挨拶を要約したものです)

支部のニュース

■一〇六名が参加して定時総会・創立二〇周年記念式典・

記念講演・祝賀会を開催

六月二十八日(土)午後三時半から、区立文化会館大会議室で、第一部・第二〇回定時総会、第二部・記念講演、第三部・二〇周年記念式典、第四部・祝賀会が開催され、一〇六名が参加しました。

一部、二部は池田幹事長が司会。物故された二名の会員に黙祷を捧げたあと、小日向支部長の挨拶を経て議事に入り、全六議案を原案通り承認可決。役員改選では石塚輝雄氏が新支部長に、小日向氏が顧問に、選任されました。

記念講演は石塚前区長の「板橋区政を振り返って」。一六年間の思い出と苦労話を、四〇分間に亘って伺うことができました。

第三部の記念式典は大野事務局長の司会で、石塚支部長の挨拶、長田繁学員会顧問、秩父和行二五周年記念プロジェクト推進本部事務局長の祝辞と続き、各地域支部来賓を紹介の後、小日向前支部長と平山前編集長に、感謝状と記

祝・記念式典20周年 支部区橋板東京会員学中央大



▲記念講演中の石塚前区長

念品が贈呈されました。

第四部の祝賀会は、川崎副幹事長の司会で開始。来賓を代表して久野修慈中央大学理事長・学員会会長の祝辞のあと、阿部勲江戸川支部長の音頭で乾杯！「白門グリークラブ」のリードで全員が校歌を斉唱してから、祝電披露、秋の旅行会予告などもあつて宴たけなわに。再び登場した「白門グリークラブ」の合唱に盛大な拍手が送られ、時の経つのを惜しみつつ、全員で肩を組み「惜別の歌」を斉唱して散会しました。(池田記)

■見次公園で盛大に観桜会

四月五日(土)。今年も絶好の花見日和に恵まれました。担当は志

村ブロック。三田さん、松島さんに、ご尽力いただきました。

志村坂上駅近くの見次公園に集合した三六名は、花を愛で、記念撮影を済ませてから「魚まる・志村店」へ向かい、美酒・佳肴を堪能しました。(金子記)

■二〇周年記念事業協賛金

総額九万二千元が集まりました。皆様方のお名前を列記して、感謝の意を表します。

* 感謝の意を表します。

- | |
|--|
| 露木久剛、佐藤幹夫、川崎力男、水野公一、関上裕次、小野田元、三宅正代、徳永勝彦、原田幸雄、早坂光平、阿部顕一、川口正、小野澤隆一、池田亘利、吉野昭一、佐藤道則、関正夫、宮村徹、工藤泰則、小日向孝介、大森守、三田喜一、山田節子、片桐久雄、大泉喜義、菅けさ美、豊田哲夫、中三川孝幸、深山宏、栗原泰房、栗原三郎、西元文武、成毛義光、鈴木裕、中山修、浅野國昭、大野正浩、笠原優、竹田和夫、川上久雄、江袋希一、保森俊秀、柴崎和夫、安喰裕二、小山明敏、坂田純一、永江益雄、杉本和久、浅羽等、大和田友一、西登志子、武部英夫、木村昭二、成田智弘、山田治賢、倉田継雄、田中義了、高田明、高木高明、高橋勝徳、高橋淳、茂呂安孝、星礼二、小林武男、久米英雄、菅野元克、千野毅、平山惟美、垣内茂、若木康夫、渡部富夫、菅原孝也、田中保成、金子益朗、滝口信一、安藤正仁、巨勢典子、宮崎雄文、清水治男、森弘、吉田秀康、鶴岡俊雄、大内康弘、岡崎一臣、石塚允信、久野雄治、町田光太郎、高橋敏美、吉岡聯太郎、相沢明、前田昌利、浅香善亮、仲光義継、小島基之、吉野安三、多田四郎、川嶋敏平、藤沼弘一、服部弘、松村武純、布施二郎、戸屋新、古澤道夫、大野哲、中路義雄、石塚輝雄、佐藤義、猪橋進一、小張喜代美、内田繁夫、野口隆、小林健一、吉田昇、山城博光、岩野覚、上里猛彦、平尾彰、小宮仁、小山勝太郎、伊藤潤、篠崎貢、須田幸男、竹中良成、本橋順、勝島義幸、松沢紀一、牧吉雄、岡田利彦、近藤正、蒲生年公、名古屋勝彦、山本仁二、まつしま、安井賢光、秋山清光、末田紀之、吉村健正 |
|--|

(申込順、敬称略)

母校のニュース

■新司法試験合格者は二位

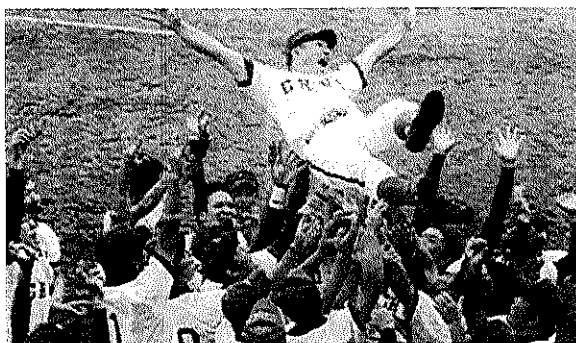
平成二〇年度の新司法試験合格者発表が、九月一日に行なわれました。合格者数は、一位東大二〇〇名、二位中大一九六名、三位慶大一六五名と、一、二位の差は、僅か四名でした。

特筆すべきは合格率で、東大を一・一パーセント上回っていたのですが、赤門も頑張っているようですが、白門も決して負けてはいません。今後の名勝負がますます期待されるところです。

■野球部も一部リーグで健闘

この春二部リーグで優勝し、一部最下位の駒大との入れ替え戦にも勝って、念願の一部復帰を果たした硬式野球部の勢いは、止まるどころを知らないようです。秋のリーグ戦に入っても、立正大、日大を連破し、ひよっとして……などという甘い期待を抱かせてくれます。

この後、東洋大、亜大、青学大の順に戦い、一〇月下旬に結果が



▲負けじと準硬式野球部も7度目の全国制覇!

判明します。前号でお知らせしましたように、東映(現・日本ハム)時代に完全試合を達成し、巨人でも活躍した熱血漢の高橋善正(良昌)氏を監督に迎え、選手も一丸となつての相乗効果が出ているようです。

■水泳部、四年ぶり総合優勝

全日本学生選手権で、中大水泳部は四年前に、史上初の一一連覇を達成しましたが、その後は優勝から遠ざかっています。北京オリンピックに出場するような傑出した選手はいなかったのですが、

満遍なく全種目に得点を重ねて、四年ぶりに総合優勝を果たすことができました。

■留任は二階産大臣のみ

八月二日に発足した福田改造内閣では、保岡法務、高村外務、二階経済産業と、三人の大臣が誕生したのですが、首相の突然の辞任発表で、短い短い夏の日の夢に終わってしまいました。

麻生改造内閣では二階氏のみ留任となりましたが、一月には総選挙も確実視されており、政局が落ち着いた後、本学から何人の大臣が生まれるのか楽しみです。

■駅伝シーズンの到来

エース上野裕一郎が卒業し、戦力低下が避けられない状況といえそうですが、かつての名ランナー浦田新監督のもと、新人に棟方雄己君(仙台育英高出身)を加え、必死のトレーニングが続けられています。

出雲、全日本(伊勢)、箱根と、大学三大駅伝のシーズンを迎えますが、是非とも、上位入賞を期待したいところです。(栗原記)

■大相撲観戦記

熱い声援に三力士勝つⅡ

この九月二〇日(土)、板橋区支部の有志一四名で、白門出身力士の大相撲観戦(応援)を行なった。



▲念力に溢れた応援団の一行

最古参の玉春日関は西十両二枚目に陥落していたが、保志光関に快勝。幕内土俵入、横綱土俵入のあと、東前頭一四枚目の豪風関が黒海関に、西前頭一二枚目の出島関も春日王関に完勝した。

我々の応援で三力士が揃って勝ったのは、昨年五月場所につづいて二度目のこと。「二度あることは三度ある」を願って、来年も全員で応援に！を誓った。(金子記)

定時総会決議事項の報告

第二〇回・支部定時総会が、去る六月二八日(土)午後三時半から、区立板橋文化会館の大会議室を会場に、会員六九名が参加して開催されました。全議案の決議事項を次の通り、ご報告申し上げます。

第一号議案

平成一九年度・事業報告

大野事務局長から次の通り報告され、異議なく承認されました。

- ・四月一日(日) 支部視察会
前野町ブロック担当
於/区立平和公園 36名
- ・四月一六日(月) ホームページ委員会
計七回開催 延56名
於/山本事務所
- ・四月二〇日(金) 常任幹事会 23名
於/グリーンホール
- ・四月二八日(土) 囲碁同好会月例会 20名
於/西池会館毎月第四土曜
- ・五月二一日(金)

カラオケ同好会 20名
於/レストラン・サンイチ

・五月二五日(金) 幹事会 40名
於/グリーンホール

・六月七日(木) 石塚前区長退任慰労会



▲東武・美濃吉での石塚前区長退任慰労会

於/東武・美濃吉 34名

・六月一九日(火) パソコン同好会
計九回開催 延90名

・六月二二日(金) 於/区立ハイライフプラザ
定時総会 83名

・七月六日(金) 於/区立文化会館大会議室
会報編集会議 6名

・八月二三日(木) 於/巢鴨ルノアール
常任幹事会 24名

・九月一四日(月) 於/レストラン・サンイチ
二〇周年記念準備委員会
文化シヤッター研修所18名

・九月二一日(金) 会報発送作業 10名
於/常盤台町会事務所

・一〇月二二日(金) カラオケ同好会 21名
於/レストラン・サンイチ

・一〇月一七日(水) ゴルフ同好会 13名
於/ノーザン錦ヶ原

・一〇月二八日(日) ホームカミングデー25名
於/多摩キャンパス

・一一月二三〜二四日(土) 秋の親睦バス旅行会

・一二月七日(金) 下部温泉泊 25名
二〇周年記念準備委員会

・一二月一四日(土) 支部忘年会
大谷口ブロック担当 44名
於/そば割烹「おかだ」

▽平成二〇年
・一月一八日(金) 会報編集会議 5名
於/巢鴨ルノアール

・一月二五日(金) 支部新年会 58名
於/区立ハイライフプラザ

・二月一五日(金) パソコン同好会総員会議
於/上板橋「黒船」 12名

・三月一一日(木) 二〇周年記念準備委員会
文化シヤッター研修所16名

・三月一七日(月) 会報発送作業 10名
於/常盤台町会事務所

・三月二八日(金) 常任幹事会 24名
於/レストラン・サンイチ

第2号議案
平成19年度 収支決算報告書

平成19年度 収支決算報告書

〔収入の部〕

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
年会費	600,000	471,000	129,000	3,000×157名
総会費	490,000	566,000	-76,000	6/22 7,000×68名、寄付90,000
旅行会費	925,000	817,500	107,500	11/23 29,980×25名、寄付68,000
新年会費	420,000	418,000	2,000	1/25 7,000×54名、寄付40,000
常任幹事会費	100,000	193,000	-93,000	4/20 2,000×23名、8/23 3,000×25名、 3/28 3,000×24名
幹事会費	100,000	78,000	22,000	5/24 2,000×39名
観桜会費	180,000	205,000	-25,000	4/1 5,000×36名、寄付25,000
忘年会費	250,000	269,000	-19,000	12/14 6,000×44名、寄付5,000
受取利息	7,000	9,364	-2,364	大学債第6回利息7,200、預金利息2,164
役員会費		108,600	-108,600	9/14 20周年記念準備委員会2,000×17名、 9/25 ブロック長会2,000×19名、 12/7 20周年記念準備委員会600×11名、 3/11 20周年記念準備委員会2,000×15名
寄付金		100,000	-100,000	石塚顧問より
雑収入		21,500	-21,500	125周年寄付に伴う補助金20,500、 小旗代1,000
前年度繰越金	2,019,657	2,019,657	0	
計	5,091,657	5,276,621	-184,964	

〔支出の部〕

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
総会費	490,000	417,510	72,490	6/22 区立文化会館68名参加
旅行会費	925,000	857,500	67,500	11/23~24 25名参加
新年会費	420,000	349,734	70,266	1/25 区立文化会館 54名参加
常任幹事会費	100,000	226,900	-126,900	4/20、8/23、3/28
役員会費		120,800	-120,800	9/14、9/25、12/7、3/11
忘年会費	250,000	277,085	-27,085	12/14「おかだ」44名参加
幹事会費	100,000	79,700	20,300	5/24
観桜会費	180,000	206,960	-26,960	4/1 36名参加
会報作成費	250,000	243,600	6,400	年2回発行
印刷費	50,000	5,800	44,200	封筒・印刷
通信費	150,000	121,765	28,235	会報2回 案内状4回
事務用品費	10,000	730	9,270	125周年記念募金ゴム印代
慶弔交際費	150,000	72,000	78,000	他支部総会会費及び香典、見舞い
同好会補助費	40,000	40,000	0	囲碁、カラオケ、ゴルフ、パソコン
手数料	12,000	17,175	-5,175	年会費振込料他
ネット導入費	100,000	60,000	40,000	
会議費	50,000		50,000	
事務所費	60,000		60,000	
会員増強費	100,000		100,000	
雑費	30,000		30,000	
予備費	1,624,657		1,624,657	
次年度繰越金		2,177,362	-2,177,362	
計	5,091,657	5,276,621	-184,964	

※注 当年度収支差額157,705

貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部			負債 正味財産の部		
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
現金		0	次期繰越金		2,177,362
郵便振替口座	3-568929	199,000			
普通預金	巣鴨信金・板橋	286,554			
郵便貯金		1,250,183			
郵便定額貯金		72,000			
前渡金	総会、花見会、常 任幹事会、幹事 会予約金	69,625			
投資有価証券	大学債残高	300,000			
計		2,177,362			2,177,362

以上の通り決算報告いたします。

平成20年5月30日

支部長 小日向 幸介
会計 山田 節子
会計 鈴木 裕

以上 支部決算につき、監査の結果、適正かつ適法に表示していると認められた。

監事 中路 義雄
監事 関上 裕次
監事 栗原 泰房

第二号議案
平成一九年度・収支決算報告

※

鈴木会計幹事から、左表の通り報告の後、中路監事から会計監査報告があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

第三号議案
平成二〇年度・事業計画(案)

大野事務局長から下記の通り説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

一、定時総会及び二〇周年記念祝賀会及び懇親会の開催

六月二十八日(土)

会場/区立文化会館会議室

二、親睦会の開催

観桜会 四月五日(土) 36名

*見次公園実施済み

(志村ブロック担当)

旅行会 秋に実施予定

忘年会 年末に予定

新年会 一月に予定

*都区内支部連絡会など

四、同好会活動の促進

・囲碁同好会 毎月第四土

・ゴルフ同好会 4・10月

・カラオケ同好会 5・10月

・パソコン同好会 4月

五、広報活動

*会報『白門板橋』の発行

年二回(3月・9月)

*ホームページの更新

*『学員時報』への寄稿

六、会員増強活動

*今年も継続して会員増強に努める。

七、「ホームカミングデー」への参加協力

八、会員名簿の作成

*パソコン同好会の方々に協力依頼

九、一二五周年記念事業の募金への協力

第四号議案
平成二〇年度・予算案

鈴木会計幹事から、左表の通り説明の後、議長から場内に諮られ、満場拍手をもって承認可決されました。(6ページ参照)

以上

告 知 板

■秋の支部旅行

支部恒例の秋の旅行会が、栃木県日光市の川治温泉高原に決定しました。

貸切バスでグリーンホール（旧板橋産文ホール）横を出発して、二日間にわたって、塩原（もみじ谷大吊橋・回願の吊橋）、日塩もみじライン、川治ダム、大笹牧場、霧降高原・霧降の滝、日光・例幣使杉並木街道などを歴訪する、魅力いっぱい旅行会です。奮ってご参加ください。



▲昨年訪れた身延山久遠寺境内で

日時／一月二二（土）～二

三日（勤労感謝の日）

午前八時集合

旅行費／三〇、〇〇〇円

宿泊先／川治温泉

湯けむりの里 柏屋

申込先／近藤、三宅、川崎、鈴木（裕）

期 限／一〇月三二日（金）

*詳細は、同封の要項をご参照ください。

忘年会の日程と会場

■忘年会の日程と会場

忘年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。（常盤台ブロック担当）

記

日時／一二月六日（土）

午後六時から

会場／南常盤台「鳥忠総本店」

会費／六、〇〇〇円

*詳細は、同封の要項をご参照ください。

■新年会の日程と会場

来年の新年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。

日時／一月二四日（土）

午後六時から

会場／区立文化会館大会議室

会費／七、〇〇〇円

*追ってご案内します。

■ホームカミングデー

一〇月二六日（日）に決まる

*

ホームカミングデーは、中央大学が学生会の協賛のもとに開催する、卒業生の集いです。

一〇時一五分からの開会式に引きついで、トークショー、講演会、スウィング部の演奏や応援部の演技などが用意されています。この三月に法学部を卒業した蓮池薫氏と、恩師である長内了教授との対談が、人気を呼びそうです。

板橋区支部では、今年も専用バスを仕立てて、多摩キャンパスを訪問します。高島平駅前、常盤台駅・三井住友銀行前、板橋区役所前を経由していきますので、参加ご希望の方は、同封の「案内」をご参照の上、大至急お申し込みください。

先着二八名限定です。

記

■会費納入のお願い

今年度の支部会費が未納の方は、同封の振込用紙で納入くださるようお願いいたします。（会計幹事）

■会員勧誘のお願い

支部事業計画のひとつに「会員増強運動」があります。縁あって中央大学に学んだ学友の「板橋白門会」への入会を誘ってください。

各種の行事や趣味を通じて、交友の輪を広げるのを働きかけてくださるよう、お願いいたします。（事務局）

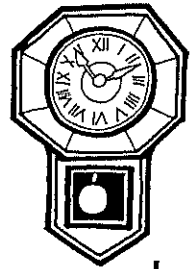


▲懐かしの「青年の像」前で記念撮影

■支部創立二〇周年記念／放談会■

板橋区支部の一〇年の軌跡

地域支部のあり方をも探る



支部創立二〇周年、つい先日、池袋・東武デパートのヴァンケットホールで創立一〇周年を祝ったばかりなのに、月日のたつのは早いもの……。

二〇周年は、人間で言うなら二〇歳の新成人。歴史的に捉えるなら、単なる通過点に過ぎないが、節目の年を迎えた今年、過ぎし一〇周年を振り返ってみるのもムダではなからう。

突如、首都・東京を襲った集中豪雨のなかを馳せ参じた七人の侍(なぜか女性一人を含む)が、熱く、熱く語り合った。

(編集部)

■足早に一〇周年を振り返って

司会 今日(今日は豪雨の中をお集まりいただき、有難うございます)。(全員スズ濡れ)最初に「支部の歩み」この

一〇年を、会報『白門板橋』の「支部ニュース」から追ってみたいと思う。池田さんにお願います。

池田 『白門板橋』支部ニュースを拾い読みする)

一同 (メモをとる)

司会 創立一〇周年を祝った後は、ニュースヴァリエーション

あるものが少ないネ。

三宅 花見とか旅行の記事ばかり…それと忘年会に新年会。同好会で、パソコン教室を開講したのは、画期的

ネ。松島さんはエライわ。紆余曲折があつて、現在のパソコン同好会になった。HPを立ち上げるまでもなかったが…。

池田 同好会といえば、公認団体ではないが、大相撲観戦ツアーが始まったのも、この一〇年のこと。

母校愛を説くのはヤボだけれど、白門出身力士を応援するのは、自然な姿だ。玉春日関に衰えが見えてちよつと心配だが。

同好会は、趣味が共通する者の集まりだから、長続きする。囲碁部など月例会が定着した仲良しクラブだから、良いことだと思つ。変化のないのは、平和ということじゃない？

司会 同好会は、趣味が共通する者の集まりだから、長続きする。囲碁部など月例会が定着した仲良しクラブだから、良いことだと思つ。

三宅 変化のないのは、平和ということじゃない？

司会 女性会員が楽しめる同好会がない。

出席者

(五〇音順・敬称略)

□ □ □ □

池田 亘利 (幹事長)

大野 正浩 (事務局長)

金子 益朗 (常任幹事)

栗原 三郎 (監事)

佐藤 道則 (副支部長)

中三川 孝幸 (常任幹事)

三宅 正代 (副支部長)

司会 / 平山 惟美 (副支部長)

●会場／文化シャッター
トレーニングセンター
会議室

●収録日／平成二〇年
八月五日(火)

栗原 ゴルフのコンペに、一度だけ女性が参加したことがあつたが、それっきり。

司会 男どもにイビラレタのか？

三宅 女性の絶対数が、少ないせいよ。

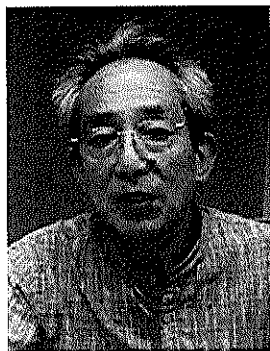
大野

自画自賛になるけど、『板橋区支部10年の歩み』の刊行は、編集委員会の手柄と言ってもいい。

池田 他支部にも、贈呈して褒められた。

会報『白門板橋』の編集長が交代して、年一回発行から年二回にして、都区内地支部に贈呈しているので評価されたようだ。

司会 何とか形を整えただけ。佐藤 神奈川県のH支部の友人に板橋区支部は、特異な支部だと褒められた。



▲大野氏



▲池田氏

司会 特異な支部とは？

佐藤 個性のあるユニークな支部だ。...

司会 具体的にどんな点が？

佐藤 自治体の長(板橋区長)を顧問に、まとまりのいい支部だと言われた。

石塚区長の人望・人徳が支部のイメージを作ったということになる。

司会 その石塚顧問を今年、支部長に迎えることができ、ありがたいことだ。

■小日向前支部長六期続投

池田 支部長職といえば、小日向前支部長(現顧問)には、六期一二年もの間、支部長をお願いしたが、本当に苦労様でした。

中三川 支部長職は、経済的にも負担があるし、大変だったと思う。

池田 大学の寄付金など、何かと出費は多いし。それになにより、リーダーシップが求められる。

栗原 板橋区支部には、弁護士・司法書士・税理士・土地家

屋調査士など「士」は多いが、大企業の社長など財閥は少ないから、支部長選に手を挙げる者は少ない。

三宅 前は、支部長希望者が多かったけど、名譽心が先行したのかしら...

池田 支部長自薦者が多かったけど、浜支部長の後任選出のときには、いろいろなことがあった。何しろ、総会で改選できなかった。

(以下、詳細はオフレコ)

■個性豊かな先人多し

池田 お盆が近いこともあり物故した先輩を偲んでみたい。三宅 ユニークと言ったらいいのか、千葉先輩が印象に残るわね。カラオケが好きで、それも軍歌。

中三川 古賀メロディーの信奉者でもあった。

池田 葬儀は音楽葬だったけど、生前に遺言していた。栗原 古賀メロディーは僕も好きだけど、一緒に歌う機会がなくて残念だったなあ。

池田 カラオケ同好会の生みの親

ですよ、千葉先輩は。発会式は、大山の「フジハナ」。同好会の役員人事は、千葉先輩の構想どおり。

三宅 さっき、ユニークと言いましたけど、親しい人の職場を毎週規則正しく巡回して来るのね。私の職場にも足繁く...

池田 千葉流ローテーションがあった。兎も角、世話好きな人だった。支部の人事にも関心の強い人。

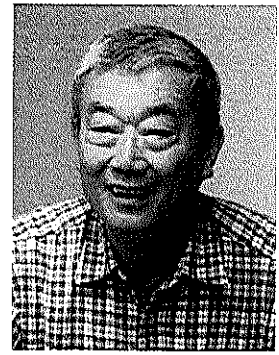
三宅 秋元先輩は、紳士だった。アルコールが入ると、気が大きくなって、財布を投げるのよ。可笑しいわね。

栗原 ガンには勝てず、惜しい人を亡くした。順風であれば支部長に推していた。司会 森先輩は、中大カラオケ豊かな人。温厚で識見のある先輩。居酒屋で銚子を傾ける姿が似合うかと思うと、カラオケも好きで、新曲を披露する。

池田 ハルピン学院出身で、戦後復員してから、中大に入っ

たと聞いています。

三宅 ハルピン学院？



▲金子氏



▲栗原氏



▲佐藤氏



▲中三川氏

司会 戦中に日本が国策（対口戦略）で設立した特殊な学校で、旧満州にあった。

中国・上海には東亜同文書院という専門学校があり、ともに国立で、優秀な学生が集まった。

三宅 道理で森先輩は、ロシア語が上手だった。

司会 諸先輩の教訓は、大事にしたい。

千葉先輩、秋元先輩に森先輩と浜先輩も含めて、みんな個性豊かな人が多かったと思う。

池田 浜先輩は、後輩の面倒見がよく、常盤台でご馳走になった人は多いと思う。

三宅 面倒見のいいということでは、初代の事務局長だった色川さんネ。自宅を事務所

に提供し、コピー機も据えつけ、支部のために尽くしてくれた。

栗原 異色の事務局長だった。事務屋さんじゃなかったが、会費の未納者には、厳しかった。

大野 元氣そうだったが、ガンで

…惜しいことをした。私利私欲のない先輩だった。

■想定外の協賛金

司会 この一〇年で、母校一二五周年記念事業の募金が始

まったが、板橋区支部は数字が上がらない。推進委員の池田さんどうですか？

池田 とんだ役割を仰せつかって弱つてもいる。

学員会本部から委嘱されたんですが、各支部の幹事長が自動的に委嘱されたみたい。

司会 数字について…。

池田 徐々には上がってきていますが、七月末現在で、五三三万五千元。都区内支部では第七位。

司会 渋谷区支部や墨田区支部と競り合っているが…。

池田 資力のある人がドーンと、抛出してくれるといいのだが…。

栗原 僕を含めて、板橋区支部には裕福な人が少ないということ。年金生活者が多く、どうにもならない。(笑)

司会 それにしては、今回の支部創立二〇周年事業の協賛金

が、想定外に集まった。

池田 目標額は、五〇万円だったから、仰るとおり、想定外でありがたいと思う。

司会 母校への募金が低調なわりには、まさに想定外で、嬉しい誤算。

池田 追って、記念事業の「特別会計」として収支報告をするけど、九〇万円を超える数字になった。有難い。

金子 お陰というか、岩手・宮城内陸大地震に見舞金を贈ることができた。

司会 見舞金の具体的な金額は、執行部に一任されたが。

池田 当初、一〇万円と考えていたが、岩手県と宮城県の間で分けるというので、一〇万円ずつ二〇万円にした。支部創立二〇周年でもあるし、近く板橋区の「広報」にも掲載されるはず。

司会 自分たちの支部創立二〇周年を祝うだけでなく、災害に遭った不幸な人々を見舞うことは良いこと。



▲三宅氏



▲平山氏

■支部の現状での問題点

司会 支部の将来を考えると、今

問題なのは、会員の高齢化と会員の減少だが…。

会員の平均年齢も相当上がっている。

三宅 高齢者が物故してるけど、若い人が多く入った訳ではないから。

司会 HPを立ち上げ、新規入会をよびかけてはいるが…、HP万能じゃない。

佐藤 基本的には、口コミの勧誘ですよ。理想は、ブロック制の組織を動員して、地域

に密着した地道な活動が大事だと思う。

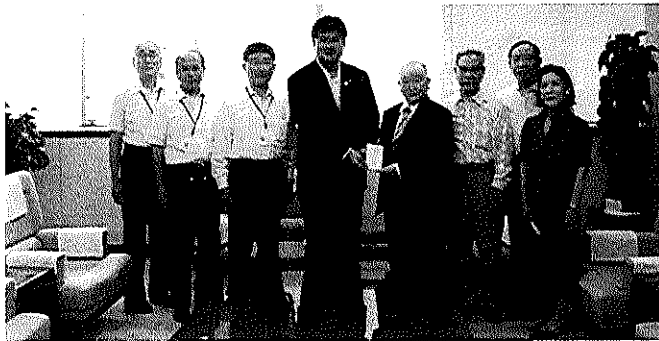
司会 今年、ブロックの再編成をしたが…。

池田 各ブロックの構成人員にバラツキが出て、運営に支障を来していた。

司会 ブロック制度を機能させるには、ブロック長の人選がポイントか？

佐藤 これまで年功色が強くなかっただろうか？

大山ブロックと高島平プロ



▲坂本区長に見舞金20万円を手渡す石塚支部長

ックがモデルになる。

ブロック長のリーダーシップというか、面倒見のいい人でないと機能しないように思う。

池田 支部の公式行事になった忘年会を含めて、視察会の担当幹事をブロックにお願

司会 面倒見のいい人がいる筈だが…、面倒くさい。

まさにブロック活動は、奉仕活動そのもので、労多くして益なし。

佐藤 難しい面はあっても、これを機能させないと、支部の活性化はない。

司会 会員の高齢化にも原因があると思う。歳をとると体が動かなくなる。

佐藤 若い人に頑張ってもらわないといけない。

中三川 体育会系支部は、まだまだ年功色が強い。板橋区支部は先輩たちが優しい。

司会 支部の執行部とブロック長との連携が、問題なんだろうか？

■これからの地域支部

司会 話を少し戻して、地域支部としての板橋区支部は、今後どうあるべきか？を考えてみたい。

金子 卒年支部は、基本的に年齢が同じだから、価値観もあまり変わらない。強いて問題といえば、学部間の温度差異か？

大野 同年代だから、突出した男を支部長に担いで、ワツシヨイ。

司会 みんな同時に歳をとるから永続はあり得ない。

栗原 「さつき会」は昭和一六年の卒年支部だが、会員は何人残っているかな？

司会 地域支部は、年齢構成が豊かで、消滅する心配はないが、新しい血を注入しないといけない。

中三川 僕は四八年の卒業だけど、後輩の会員があまりいない。寂しいですよ。

佐藤 仕事を持つ現役の者は、忙しくて出て来られない。

司会 時間は作るもので、気持ち次第だと思うけど。

佐藤 僕は、板橋区に中大の學員

会支部があるのを知らなかつたが、學員会の本部で栗原さんに出会って入会を勧められた。

司会 僕は、高島平に住んでいた

会社の部下が、飲み屋で千葉さんと親しくなり、紹介され勧誘された。

池田 益田(故人)さんが入会し

た経緯も千葉さんが勧誘したの？

司会 そうです。経理にも通じて

いると話したら、支部の会計に辞令がおりた。(笑)

中三川 僕は池田先輩に勧誘され

て入会した。強引だったですね。

司会 地域内の學員情報は、活用

されてるけど、支部として地域の行事に参加するとかも考えないといけないと思う。

佐藤 だいぶ前に「學術講演会」

をやったとき、地域住民を招いたけど、これだネ。

■會員同士の知る権利

司会 現役會員は、それぞれいる

んな職業を持つていて、まさに異業種の交流ができるから楽しいはず。

情報も多種多様で：人脈も広がる。

池田 友人が増えれば、仕事にも

プラスになる。

司会 いい意味での會員同士で、

助け合えるなら、言うことなし。

栗原 「會員名簿」を今年も改訂

版を出そうとしているが、個人情報保護の問題で、一部反対の声があるが、行したい。

三宅 名簿の悪用が問題なので、

名簿は必要よ。

司会 會員名簿に記載されている

情報は限定されているし、それさえ否定すると會員同士の情報が何もなくなってしまう。仲間を知る権利はあっていいと思う。

仲間を信頼しないと…。「學員」という特定の仲間同士が情報を共有するとい

栗原

うことで…。

一同 同感。

司会 名簿で知った情報は、限ら

れているが、自分より先輩なのか後輩なのかが分かるだけでもいい。

佐藤 同好会の仲間を勧誘するの

と、親近感が生まれる。

司会 趣味に旅行とカメラを申告

したら、支部の旅行に参加人員が足りないから、ぜひ

参加して欲しいと勧誘されて、写真の係りまでお

世話かった。(笑)

一同

佐藤 會員の中には年金生活者も

多いと思うが、いわば第二

の人生を如何に楽しく過すかを考えると、白門板橋

という集団に同窓の仲間が大勢いるということは、素晴らしいことだ。

中三川 僕は大学の空手OB会に

所属して、今でも週一日は稽古をしている。忙しくて

もやりくりして、時間を作

っている。

仕事の後の稽古はキツイけど、楽しいもの。

TOPICS

●「白門」が中大の別称として定着しているが、なぜ白門なのか？

確たるネーミングの由来は不明だが、東大の「赤門」に対抗して、私学の雄としての自負から、別称されるようになったらしい。

かつての駿河台キャンパスに、白色の校門があった訳ではない。

●「南甲倶楽部」って、何…？ 多摩キャンパス出身學員あたりから、南甲倶楽部を知らない者が多い。中大出身者の財界で活躍する経営者の団体というくらいは分かっているけど、「南甲」が南甲賀町という昔の地名に由来しているのを、知る人は少ない。無論、レッキとした學員会支部。

(H記)

司会 学生時代に部活をやった人は、卒業しても、継続している。仲間との絆が強いんだね。:

友人と呼べる友達、部活で一緒だったというケースが多い。

三宅 女性は結婚して家庭に入ると、なかなか外に出られない。まして仕事を手持てる人はキツイわね。

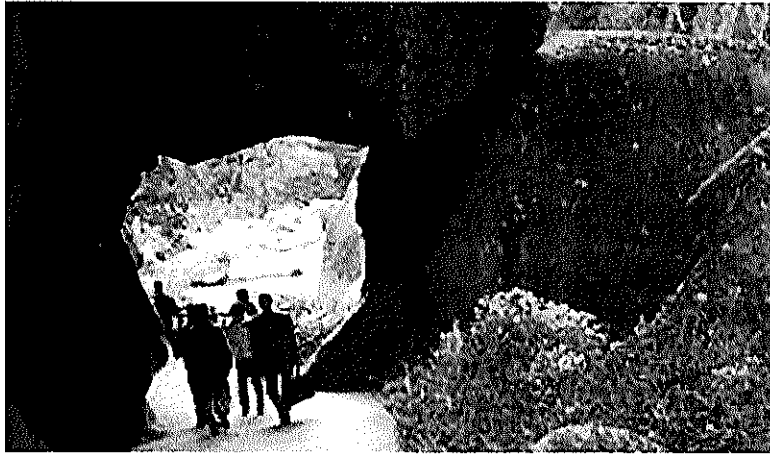
佐藤 男にも女にも、付き合いのいい人がいて、そういう人は何事にも積極的だね。

そして、好奇心が強い。

司会 好奇心が強いということは、精神的に若いということだね。:

高齢だったけど、亡くなった森先輩は、どんな行事にも、皆勤していたよ。

心が若かったんだね。



▲昨秋のバス旅行で訪れた日本一の溪谷美・昇仙峡遊歩道の「石門」

池田 支部の行事はいろいろあるけど、総会にしろ旅行にしろ、出席メンバーは大体同じで、不思議だ。

大野 旅行はいつも三〇名前後で増えもしなげりや、減りもしない。

金子 忘年会も新年会も顔ぶれは固定している。このメンバーは、みな若いと言える。

■ 集団帰属欲求

司会 「マズローの法則」というのがあるけど、人間は、どこかの集団に帰属してないと、心の安定を欠く。:

と言われている。現役なら、所属企業が集団

の長たるもので、他に帰属する集団がない人は、会社を退職したら、タダの老人。:

寂しくないか？

女房、子供がいる人には、家庭という小集団があるけど、どこにも行き場のない人は、孤独だと思ふ。

池田 卒年支部（四一会）と板橋区支部の二つに入っていると、何かと忙しい。それに、職域の団体があるし。:

金子 会費だけでも大変だ。

司会 みんな合わせても一万円でおつりが来るでしょう。会費の問題では、この一〇

年で、納付率が上がっていない。:

池田 さっき、故色川事務局長が会費の未納者には厳しかったという話があったけ

ど、納付率が上がれば、支部の財政は楽になる。佐藤 仮に一パーセント上がるといくらになる？

会費未納で、会報が郵送された会員は、どう思っているらうね。

栗原 三期連続未納で除籍は、甘いねえ。会員増強も大事だけど、会費が順調に入ればすべてが丸く収まる。

大野 福祉施設で囲碁や将棋を楽しむのも集団帰属だが、支部で楽しむのがいい。

司会 地域の施設で住民と交流することも大事だが、板橋区には白門の支部がある。同窓生同士が胸襟を開いて語り合うことで、生きがい

が生まれると思ふ。限られた一生なんだから、みんな支部で「楽しい集団」に育てましよう。

今日は、長時間ありがとうございました。

*

「放談会」を終えると、板橋の夜空は、ゲリラ豪雨もピタリと止んでいた。

同好会ニュース

■ゴルフ同好会

四月二日(水)、茨城県笠間市のカントリークラブ・ザ・レイクスで開催された白門板橋ゴルフコンペの結果は、左記の通りでした。

- 優勝 早坂光平
- 準優勝 片桐雅子
- 三位 吉野昭一

なお、秋の大会は、一〇月二三日(水)、ノーザンカントリー錦ヶ原ゴルフ場で開催されます。幹事は、早坂さんと菅原さんです。

■カラオケ同好会

会場をグリーンホール地下一階のレストラン・サンイチに移して三年余、参加者が着実に増えていきます。会費のわりに料理も飲み物も潤沢なうえ、貸切の個室で、落ち着いてカラオケを楽しめるからでしょう。

今年も、五月九日(金)の第一回例会につづいて開催された一〇月一〇日(金)の第二回例会は、通算第二〇回目の趣向もあって、

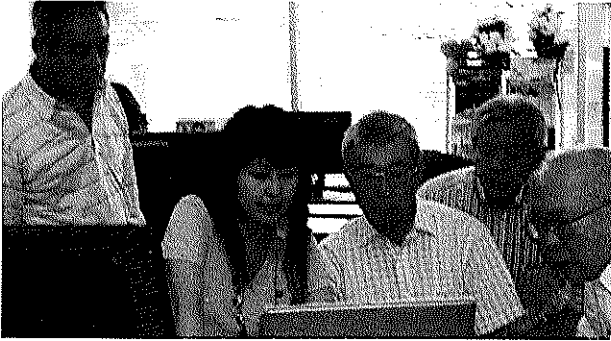
レストラン・サンイチは大いに盛り上がりました。

■パソコン同好会

毎月二回を目標に、ハイライフプラザいたばし一階会議室で、初心者講習会を開いています。

この六・七月には、サンシティのパソコン教室「HSD」に会場を移して、電子メールの基礎講座を開催し、好評を博しました。

八月は夏休みをとり、九月からはハイライフプラザに戻って、月二回のペースで講習会を続けてい



▲パソコン教室で訓練中のホームページ研修会の面々

ます。関心がおありの方は、世話人の吉岡さん(☎三九三六・八三一五)までご連絡ください。

* ①

また姉妹組織にホームページ研修会があり、このほど「板橋白門会ホームページ」を立ち上げました。

① <http://www.geocities.jp/hakumonitabashi/>

② <http://www.hakumonitabashi.net/>

右の二つのアクセス方法があります。

①にはコマンドが入りま

す。②は若干見にくい箇所があり、修復中です。

閲覧方法がよく分からない方は、パソコン同好会の勉強会にお出かけください。詳しくご説明いたします。

■囲碁同好会

毎月第四土曜日に、二〇名ほどの会員が参加して、定例月例会を開催しています。「西池袋囲碁サロ

ン」(☎三九八五・三二八〇)に一時に集合して五く六対局し、持ち点制で優勝・準優勝者を決定しています。当日会費は三〇〇円、サロン入場料七〇〇円です。

夏には毎年、一泊の囲碁合宿を実施しています。今年も、七月二七く二八日に秩父・越後屋旅館で行ない、一一名が参加しました。

新入会員を募集中です。定例会の当日「西池袋囲碁サロン」にお越しいただくか、事務局の布施さん(☎三九六七・一六九三)までご連絡ください。

■新入会員紹介

▽徳田精久(とくだきよひさ)

四七年法学部卒

松戸市新松戸三二九六一B

五〇七

㈱アサヒポンド工業専務

趣味/ドライブ、音楽鑑賞

◎

▽水口一宏(みずぐちかずひろ)

五三年経済学部卒

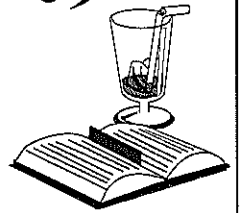
川越市官元町五四一

第一倉庫株式会社営業本部

趣味/ジョギング、カラオケ

■白門作家シリーズ

「大村文学」拾い読み



『首挽村の殺人』

著者／大村友貴美

発行所／株式会社角川書店

■著者プロフィール

一九六五年、岩手県生まれ。

中央大学文学部卒業。横溝正史と推理小説を心から愛し、二〇〇七年、本作品で第二七回横溝正史ミステリー大賞を受賞。現在、岩手県滝沢村に在住。

* 本学文学部が輩出した女流ミステリー作家で、自らも推理小説をこよなく愛す。本作品で大賞を受賞し、昨年六月三〇日に角川書店から単行本として出版された。

推理小説ファンはとにかく、一般読者にはまだ知名度が低いが、中大学員会が発行する「CHUO Digest 2009」に著者の名を見て、

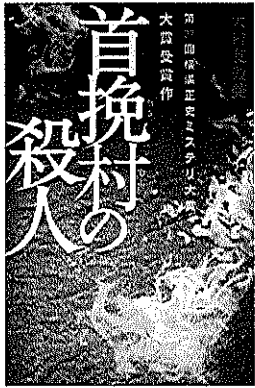
書店から取り寄せた。

*

小説の舞台は、著者の生まれ育った岩手県の寒村。小説のタイトル首挽村は実在しないが、雪深い過疎の集落で、冬眠し損ねた熊が、飢えを満たすために人里に出没して、家畜を襲うだけでなく、年老いた女性をも襲い、村中を震撼させる。

そんな厳しい自然環境と過疎の村の診療所に、勇躍赴任した杉聡一郎という医師が、着任して僅か五ヶ月で何者かに殺される。

同僚の死に不審なものを感じた



滝本志門という医師が、四ヶ月の期限付きで赴任するところから物語が始まるが、その後も村では立て続けに殺人事件が起きる。

犯罪の陰には何かがある…。

事件究明に現地入りした滝本医師は、診察のかたわら懸命に手がかりを探った。

事件は、村に残る古い「民話」

のストーリーどおり、短期間に連続して発生するので、時に熊の仕業かと思わせたりするが…。土壇場になって、杉医師の婚約者であった滝本の妹・瑠華(るか)の自白で決着するが、妹の犯行を察知していた兄は、敢えて自身も殺人を幫助して妹を庇う策に出るなど、

物語はめまぐるしく進展する。

家族愛・兄妹愛、高齢化問題、過疎地の医療問題等を織り交ぜ、社会性も豊かな作品だ。

*

元来、推理小説はさほど好きではないが、なぜか今夏に限っては、梓林太郎の山岳ミステリーに引き続いて本書を読んだ。しかし暑い夏の夜にと期待した涼味はなく、小さい活字で、四百ページを超え、大作だけに、大変な時間と労力

を費やし、疲労だけが残った作品だった。

(平山記)

■TOPICS■

残念！ 無念！

福田改造内閣の新大臣

九月一日、政界に激震が走った。内閣を改造したばかりの福田首相が、突如、辞任を表明した。

久々に本学出身の大臣が三名誕生して、ご同慶のいたりと思いきや、総辞職必至の現在の心境や如何に。

学員会会長が音頭をとって、各学員会支部に「各大臣就任を祝う会」をよびかけたが、突然のハプニングに右往左往。中止が必至と思っていると、急遽「懇親激励会」に看板を取り替えて、予定された九月八日に実施された。

カレンダーを覗いたら、九月八日(月)は「仏滅」だった。いやな予感がしたと言ったら、笑われるか？

(平山記)

■「相生橋」に由来する町名

相生町という町名は、昭和三八年一月一日の町名変更により誕生しました。旧町名は志村中台町です。これは法務局の登記簿で確認してきました。

相生町の地名は「相生橋」とい

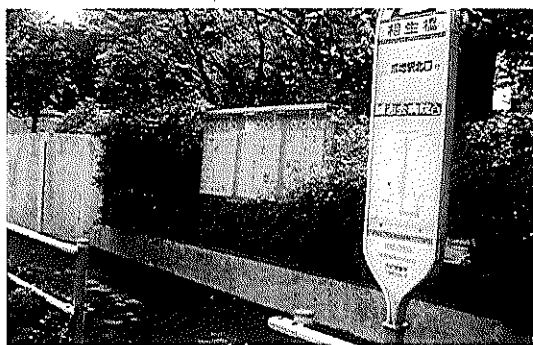
地名の由来…②②

「相生町」の巻

う橋の名に由来します。昔の橋は現在の志村坂下小学校の南側の校庭にあつたそうです。このことは、川口正先輩にご紹介いただきました。地元の内田清さんに伺いました。法務局の旧公図で調べても、そのように推測できます。

小学校が建てられ、新しい橋に架け替えられたとき、「相生橋」に

決まったそうです。当初、地元の人たちは、「隣人愛をもつて仲良く生きていく」ということで、「愛生橋」を考えていたようです。これは昭和三二年ごろのことです。これより前の昭和四年から八年



▲バス亭にのみその名が残る「相生橋」

ごろの古い地図を見ると「愛生舎牧場」があります。現在の志村四中の近くです。例によって、勝手に推量してみますと、地元の一部の人たちが、愛生舎牧場と同じ字ではまずいと考えたのではないのでしょうか？ 現在、相生橋はありませんが、近くのバス停にその名

が残っています。

■昔の蓮根川は子供の天国

相生橋が架かっていたのは蓮根川です。「ドンドン川」とか「どぶ川」と呼ばれていた時もありました。蓮根川は全長三キロメートル程の小さな川で、中台と西台に挟まれた低地に、湧水の池があり、ここが水源になっていたと思われる。川幅は約一メートル、鮎、小エビ、どじょう、蛙などが棲息し、子供たちがよく遊んでいたようです。

上流では、昭和の始めにできた薬品工場が汚水を流すようになって、小魚の姿は消えました。相生町、坂下のあたりも、昭和三〇年代には水も涸れ、水田から畑に、そして宅地になっていきました。下流では、昭和二二年ごろまで、ハゼが釣れたそうですし、鮎、鯉なども沢山いたそうです。また下流は水害多発地帯で、出水は日常茶飯事、昭和三年及び三三年の大洪水では、甚大な被害を受けました。誘致した工場群が、多量の地下水を汲み上げたのも一因でありましょう。しかし区の規制や大型

ポンプを備えた排水場の設置などで、今では水害はほとんど起きなくなりました。
(中三川孝幸記)

編集後記

●今号は、支部創立二〇周年記念とあって、いつもよりページ多い特別号です。六ページの放談を企画・構成してください。平山前編集長には、格別のお骨折りをいただきました。「板橋区支部この一〇年の軌跡」をお楽しみ願えたことと思います。

●「板橋区白門ホームページ」が、佐藤道則さん、山本仁二さんをはじめとするホームページ研修会の方々のご尽力により、アクセス可能になりました。詳しくは、パソコン同好会の紹介欄をご覧になってください。

●「高島平」「大谷口」と続いた「ブロック紹介」は、ページ数の関係と、ブロック再編成のからみもありまして、今回は休載します。次号から連載を再開しますので、楽しみにお待ちください。
(金子記)